

# 🎤 つなごちゃんだより 💝 2021年度



〒177-0045 練馬区石神井台 3 丁目 31 - 4 小規模保育園手をつなご石神井台

> TEL 03 (6767) 1204



季節は冬になりましたが、子どもたちの成長は著しく、自己主張にも磨きがかかっています。

「ジブンデ!」と主張するくせに「ダッコ」「ヤッテ」と甘えて来るのも小さい子どもたちの姿です。求めに応 じて「甘やかして」大丈夫なのかと保育士も揺らぐことがあります。

さっきまで大人を払いのけていたのに、怖かったり、不安になったりすると大慌てで走って来て「ダッコ ダッコ」と叫んだり、どうしようもないほど泣いたりします。大好きな大人に抱っこしてもらったり、気持ち を分かってもらうことで、子どもは安心します。安心を充電出来る人がいるからこそ、子どもたちは外の世界 に漕ぎ出していくことが出来るのです。子どもは大好きな人に甘えながら(依存しながら)自立していきます。

「子どもにやらせるとまどろっこしいから」「いつもー緒に居られなくてかわいそうだから」「かわいいから」 と何でもやってあげたり、買ってあげるのは、「大人の都合や感情で子どもに関わっている」「甘やかしている」 「過保護である」ということになりそうです。

大人が甘やかすことと、子どもに甘えさせることは似ていますが違います。私たち保育士も子どもの大きくな りたい願いを大切にしていきたいと思っています。

「子どもが安心して甘えられるように」と言っても日々の生活は大変です。うまくいく日もぐちゃぐちゃにな る日もおありでしょう。皆さんに心からのエールを送ります。 園長 浦山恵美子



#### ★O歳児ひよこ組★

- ・気候や体調に留意し、衣服を調節し動きやすい服装で 過ごせるようにする。
- •一人ひとりが安心できる環境の中で、のびのびと体を 動かしたり、興味がある場所、物でじっくり遊ぶ。

#### ★1歳児りす組★

- ・感染症や気温の変化に気を付けながら健康に過ごせ るようにする。
- ・身の回りのことをやってみようとする気持ちを大切 にし、自分で出来た喜びを感じる。
- 遊びの中で友だちとのやり取りを楽しむ。

#### ★2歳児うさぎ組★

- 静と動の動きを組み合わせながら快適に過ごせるよ うにする。
- ・自然に触れ、季節の変化を感じる。
- •保育者が仲立ちとなり、相手の思いに気付くとともに 友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。

## 今月の予定

15日(水) 身体計測 17日(金) 避難訓練

22日(水) 年末お楽しみ会





### お子さんの肌は荒れていませんか?

小さい子どもは冬でも意外に汗をかきます。バリア機能も 未熟で、汗や食べこぼしで荒れたりおむつかぶれを起こし たりします。また生後 3 か月以降は皮脂が減ってカサカサ になりがちです。

① たっぷり保湿

保湿剤はお風呂上りには必ず塗りましょう。肌にしめり けがあるうちに使うと角質に水分を閉じ込められます。

肌に汚れがついているときにはきれいに拭きます。お風 呂ではごしごし洗わず、泡立てた石鹸で優しく洗います。

刺激を少なくする

直接肌に触れる衣類は綿素材がおすすめです。合成繊維 は静電気を起こしやすく、肌を刺激して、かゆみの元にな ります。

登園前にも保湿できると冷たく乾いた空気の中でも安心です

#### 運営委員会を書面で行いました

運営委員の皆様から、今後の方針や課題について ご意見をいただきました。保護者の皆様から頂いた ご意見とともに今後の運営に活かしてまいります。



こちらの QR コードから保育園の ページ・おたよりをご覧になれます。







小規模保育園手をつなご石神井台は、「特定非営利活動法人手をつなご」が運営を行っています。











#### ★ひよこ組★

椅子に座って初めて描画活動をすると、クレヨンを見て "ん?何だこれ?"という表情でテーブルの上で

コロコロ転がしたり、トントントンと紙に押してみたり。初めてのクレヨンとの出会いだった のでしょうか。"あ~、これ~、かきかきだ"と思った子はしっかりとクレヨンを握り、紙 いっぱいになぐり書きを楽しんでいました。椅子に座って机上で活動することがいつもと 違って楽しいようでしばらくニコニコと笑顔でクレヨンで描いていましたが・・・ 「あーっ!!」(保育者の声です)壁にも一筆描いていました。



#### ★りす組★

りす組は、クレヨンでクルクルと腕を回して描いたり、点々と殴り書きすることから少しずつイメージを持って 「わんわん」「ボール」などと形を描こうとする姿もみられるようになりました。園では、



クレヨンを使ったり、ポンポン筆や指を使って絵具あそびを楽しんで います。先日は、どんぐりの帽子を色付けし、目はシールを貼り、 その中にマジックで瞳を描きました。みんな「目をかく」とイメージ して取り組んでいて、保育士の方が子ども達の想像力に驚かされる時 間でした。



#### ★うさぎ組★

手の力が強くなってきたので小麦粉粘土から少し硬めの油粘土に変え、 粘土の量も増やしています。粘土板も大きいものを使う様になりま した。自分で粘土と粘土板を持ってきて油粘土を「うーん・・」と力を 入れて、ちぎったり伸ばしたりして、お団子やヘビを作っています。 保育者がヘビをニョロニョロ~と動かすと「気持ち悪いぃ~♪」と言い ながら一緒にニョロニョロ~と遊んでいます。





# 大地震に備えて















#### 〈家の中で大きな揺れが起きたら〉

お子さんを抱えて「落ちてこない」「倒れてこない」「移動しない」と ころに避難します。

突然激しい揺れにあうと、頭の中が真っ白になってしまいます。 あらかじめ、どこに移動するのか (テーブルの下など) 家族で話し合 っておきましょう。

家具の転倒防止をしておきましょう。

#### 〈揺れが収まったら〉

家族でお互いを見て、けががないか確か めましょう。

ガラスや陶器の破片でけがをしないよ うにしてくだい。ふみ抜き防止の災害用 スリッパも市販されています。

小さいお子さんはおんぶしてしまうのも 一つの方法だと思います。

#### 〈商業施設や地下街にいたら〉

パニック状態になる恐れがあります。お子さんと手を繋いで いても、人波に翻弄されて手が離れてしまうことがあります。 抱けるお子さんは上着の中に入れて抱くなどしましょう。 紐でおんぶする方法を知っていると大きい子どももおぶること が出来ます。保育園でいつでもお教えしますので、声をかけて ください。

地下街は60メートルごとに避難口が設置されています。 壁伝いに歩いて避難しましょう。

#### 〈お出かけの時は〉

おむつ、お尻ふき、水、小さなライト (スマホは電池が大事になります) お気に入りの小さなぬいぐるみなどが入 っていると安心ですね。

おんぶ・抱っこ用の紐もあると安心です。